

長年の功績に光

長年にわたりそれぞれの分野で尽力された方々が、荣誉に輝かれました。

春の叙勲

旭日双光章

元 石川県田鶴浜町長
田鶴浜町 赤坂 隆

[70歳]

幼ない頃、祖父の膝の上で「世のため、人のため」とよく聞かされた。その言葉は、今も赤坂さんを突き動かしている。36歳で旧田鶴浜町の議員となり、議長などを歴任。平成15年には町長に就任し、合併までの1年半、町政の発展のために奮闘した。「町長としての責任は重たく大変だった。世のため人のためという信念でやってきた」と当時を振り返る。「家庭を顧みず仕事できたのは、妻のおかげだ」と内助の功に感謝。

これまでに大きな病気に直面し、死を感じたことがあった赤坂さん。「その時、自分の過去を振り返ることができたことで世のため、人のためという信念をより強く再認識した」と話す。

今は下水道管理会社で常務取締役を務め、社長や社員との相談役として働いている。「今後は、自分の得た知識を後輩に伝えていきたい」と意欲をみせる。



春の叙勲

旭日双光章

元 石川県クリーニング
環境衛生同業組合理事長
田鶴浜町 神戸 宏和

[75歳]

昭和42年、旧田鶴浜町でクリーニング店を開業。妻の実家がクリーニング店をしていたことがきっかけだった。「他店との競争など苦労することもあったが、満足と品質を第一に考えてやってきた」と話す。時代のニーズに合わせた技術向上や、省エネを心がけること、地下に浄化槽設備を設置し環境に配慮するなど、地域に愛されるクリーニング店を目指した。

また、県クリーニング環境衛生同業組合の理事長などの要職を歴任。多様化する繊維製品に対応するため講習会を開催するなど、業界全体の発展にも尽力。「この受章は、地域の人の理解や支えがあつてこそ。私一人の力ではない」と地域の人や関係者への感謝を忘れない。

地域では、民生委員を24年間も務め、悩みを持つ人のよき理解者として活動している。「和をもって解決が一番」と話すそのやさしい表情から、ひた向きの姿勢が伝わる。



春の叙勲

瑞宝双光章

和倉町 立川 渉

[72歳]
元 日本郵政公社職員
(特定郵便局長)

和倉温泉郵便局長や、能登地区の特定郵便局長業務推進連絡会長を務め、42年間郵政の業務向上に尽力。地域に愛される郵便局を目指した。退職後は、和倉温泉の源泉供給会社の社長として和倉の発展に力を注ぐ。和倉の話をする温かな表情は、和倉への思いに溢れていた。



春の褒章

藍綬褒章

中島町 藤瀬 辻 正明

[63歳]
現 七尾市第2消防団
副団長

昭和52年から消防団員となり、分団長を務めるなど地域防災に尽力。「自分の町は自分で守る」という使命感のもと、今でも団員を続けている。後輩から「消防団に入って良かったと言われたことが、この上ない喜び」と話す。町を守る信念を受け継いでもらうため今後も後進の指導に当たる。



危険業務 従事者叙勲

瑞宝単光章

能登島向田町 開化 三智男

[70歳]
元 七尾鹿島広域圏事務組合
消防司令

昭和46年から消防士として32年間勤務。一人で勤務することが多かった当時を「万が一の時には、地元の消防団が頼りだった。感謝している」と振り返る。火の怖さを誰よりも知る開化さん。「火が、確実に消えているか確認することを心がけてほしい」と強調していた。



春の叙勲

瑞宝単光章

江曾町 松原 秀雄

[66歳]
元 日本郵政公社職員

七尾郵便局の配達員として42年間、雨の日も雪の日も郵便物を配達した。「昔、雪がひどい日は歩いて配達したこともあったが、配達先でお礼を言われたことが何よりも力になった」と話す。「仲間にも恵まれ、いいチームワークで仕事ができたと充実感に満ちていた。」



危険業務 従事者叙勲

瑞宝双光章

中島町 塩津 脇本 伸一

[61歳]
元 1等陸尉

自衛官だった伯父に憧れて陸上自衛官となり、35年間務めた。「たくさんの人たちの支えがあつて職務を全うすることができた」。好きな言葉は「一所懸命」。これまでにさまざまな業務で奮闘した話をする姿に、何事にも一途に取り組む姿勢を感じた。



危険業務 従事者叙勲

瑞宝単光章

中島町 豊田 中村 純一

[72歳]
元 神奈川県警部補

東京で生まれ、昭和34年から35年間、神奈川県警察に勤務。10年間、機動隊として危険な警備などに就いた。「毎日のトレーニングで培った体力は、今も警備員の仕事で役立っている」と話す。取材中、背筋が伸びたままでの対応から、今でも警察官らしいきりつとした空気を感じた。

